

❖科目名Course Title			
人文科学入門Ⅱb (日本史と文化財)			
❖授業担当教員Instructor			
中村 太一			
❖開講学期Semester	前期	❖対象学年Year	2年～
❖履修可能人数Capacity	遠隔 0人	❖単位数Number of Credits	2
	オンライン オンデマンド 70人	❖授業形態Type of Class	その他 ①講義 (オンライン)、および、②DVD視聴+レポート提出 (オンデマンド)。
	対面 0人		

❖キーワードKey Words	
正倉院, 日本古代史, 国際交流史, 文化財とその保護・継承	
❖授業の目的Course Objectives	
正倉院宝物を具体的なテーマとして取り上げた授業を通して, 正倉院宝物そのものことはもちろん, 7～9世紀頃における国際交流の問題や, 世代を超えて守っていかなければならない文化財の意義等について理解を深めてほしいと考えています。	
❖授業概要Course Description	
正倉院宝物は, 年代がはっきりしている, 保存状態がよい, 多様性があり数量が多い, 優品が多い, 世界的にあるといった特質を有し, 世界でも希有な文化財です。この授業では, この正倉院宝物をとりあげ, 文化財に関わる様々な学問分野やその研究成果を紹介していきます。 実際の授業では, 具体的な美術品や工芸品を見て理解する必要があるため, NHKが制作した『正倉院宝物』のビデオを多く使用しますが, その要点をまとめた小レポートを毎回提出してもらうので, 能動的な態度で受講してほしいと思います。	
❖到達目標Course Goals	
1. 正倉院宝物に関する基礎的な知識の獲得。 2. 正倉院宝物を通じた古代日本の国際交流に関する理解。 3. 文化財とその保護・継承の意義に対する理解。	
❖授業計画Course Schedule	
①オリエンテーション (オンライン講義) ②～⑤正倉院宝物概論 (オンデマンド・4回分) ⑥まとめ1 - 正倉院と正倉院宝物 (オンライン講義) ⑦～⑩古代の国際交流と正倉院宝物 (オンデマンド・4回分) ⑪まとめ2 - 正倉院宝物からみた国際交流 (オンライン講義) ⑫～⑬文化財としての正倉院宝物 (オンデマンド・2回分) ⑭まとめ3 - 正倉院宝物の歴史と未来 (オンライン講義) ⑮全体のまとめと試験	

◆成績評価Grading System
到達目標の1と2に関して、 ①オンデマンド授業の小レポート ②期末試験 の2種類の方法によって評価します。配点等の詳細はオリエンテーションで説明します。
◆テキストTextbooks
DVD『正倉院宝物：シルクロードにルーツを探る』（NHK制作。全15巻。1巻あたり30分番組2編を収録。）
◆参考書Reading List
授業中に適宜示します。
◆準備学習Homework
オンデマンド授業（DVD視聴+レポート提出）については、各自、大学図書館や自宅で学習してください。
◆オフィスアワーOffice Hour
水曜日14:40～16:10 他大学の学生の場合、下記E-mailによる質問を受け付けます。
◆連絡先E-mail
nakamura.taichi@k.hokkyodai.ac.jp
◆質問・相談への対応方法Contact Information
質問等がある場合は、メールを送ってください。メールを送る際は、必ずタイトルに「人文科学入門に関する質問（所属大学・氏名）」と記入してください（タイトルが無いメールは、迷惑メールやウイルスメールと判断して削除する場合があります）。
◆履修上の注意Notes
オンライン講義は、zoomやgoogle meetといったアプリケーションを用いてインターネット経由で行います。必要な機材や回線は、各自で用意してください。
◆備考Other Information
実際のカレンダーに即したスケジュールや成績評価の詳細については、1回目のオリエンテーションで説明するので、履修希望者はオリエンテーションを必ず受講してください。